

梅毒

ばいどく

まだまだ 拡大中!

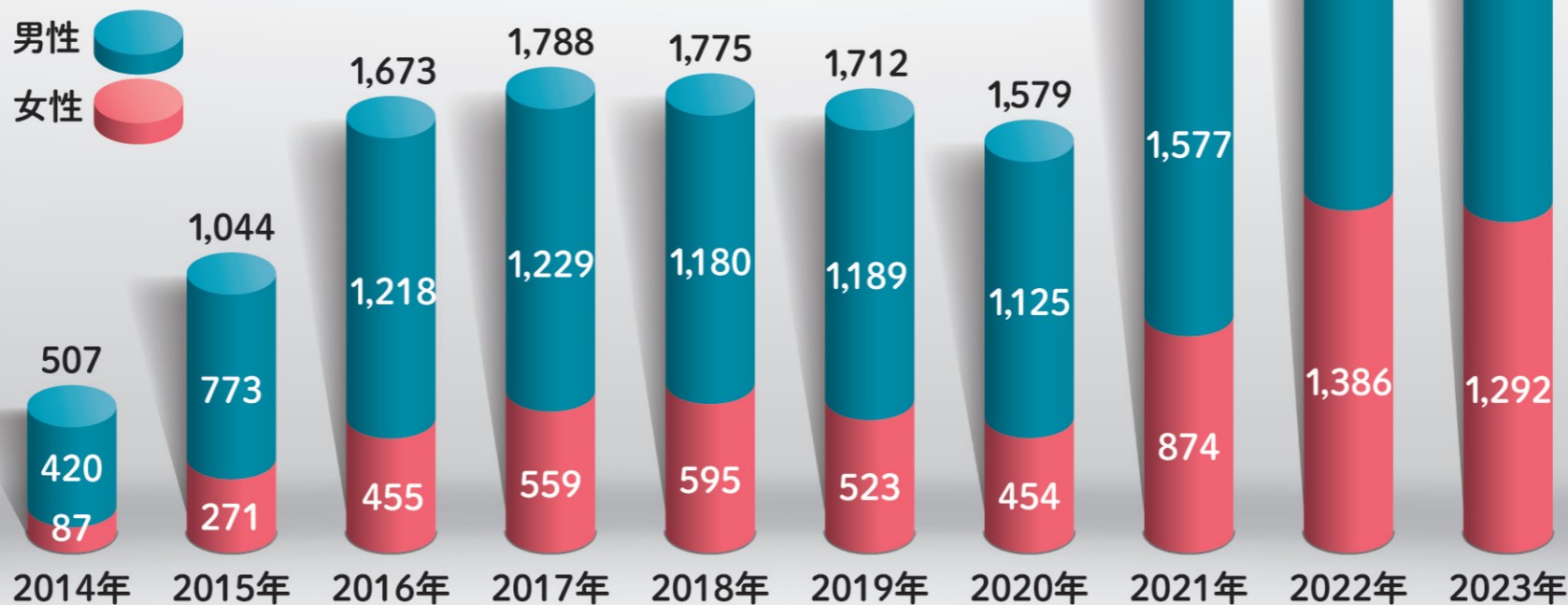
過去の病気じゃなくて
今、流行しているんだ!

早めの治療が
大事なのに……

知っていますか?

2023年も都の梅毒患者報告数は減らず、依然として多い傾向にあります。梅毒はセックス(オーラルを含む)などの行為により、粘膜や皮膚の傷から感染します。

都内の梅毒患者報告数の推移(件)



梅毒を広げないために

梅毒の正しい知識を

梅毒は治療をしなければ、発疹やただれなどが出たり消えたりする間に、失明などの症状が進行してしまいます。また、症状がないこともあります。予防にはコンドームの正しい使用が有効ですが、100%感染を防ぐものではありません。妊娠中の感染はお腹の赤ちゃんにも感染することがあります。

検査は匿名・無料

「梅毒かも?」と思ったら、パートナーと一緒に早めに検査を受けましょう。梅毒検査は、HIV/エイズの検査と同時に都内の保健所・検査室で匿名・無料で受けられます。

早めの検査、早めの治療を!

